

令和2年度 延岡市立北川中学校 第74回入学式 校長式辞

(まず、新型コロナウイルス感染防止のため、例年とは違う形での入学式となりますことを、お詫び申し上げます。今後も感染予防対策には万全を期してまいりますのでご理解の程よろしくお願いいたします。)

式 辞

「春風や 鬪志抱きて 丘に立つ」(文学者 高浜虚子)

今年の桜は少し早く満開となり、皆さんを祝福するかのように桜吹雪のシャワーとなっています。今日の良き日に、第74回入学式が挙行できますことを、職員一同、心より感謝申し上げます。

ただ今、名前を呼ばれた16名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。2年生、3年生の先輩達や先生達は、皆さんの入学を心待ちにしていました。心から祝福いたします。

入学に当たり最も大切なことをお話します。それは学校は勉強するところだということです。教科の授業はもちろん、毎日の集団生活、学校行事や部活動など全てが大人になるための勉強です。それをしっかりと頭においてください。

そのほか、皆さんに三つのことをお願いします。一つ目は志を高くもってほしいということです。志とは人生の夢や目標のことです。新入生の皆さん一人一人が、その胸に高い志をもって中学校生活を送ってください。夢や目標の無いところに、努力は無く、努力無くして成長はありません。

二つ目は一人一人が、自分を律することです。集団で生活するにはルールを守ることが大切です。ルールを守るからこそ勉強やスポーツに思う存分打ち込めます。新入生の皆さんも先輩達と一緒に、集団生活の決まりを守り、自分を律することができる人になってください。

三つ目は思いやりの心を持つことです。人間は一人一人みんな違います。個性を持っています。違って当たり前です。違うものを受け入れて認め合う心をもってください。学校は人との付き合い方やコミュニケーションを学ぶ場でもあります。人は一人では生きられません。仲良く楽しく協力し合い、許し合う心をもってください。

さて、北川中学校は、昨年「日本一の北川中学校」を目標に取り組み成果をあげてきました。今年はさらに「やる気、根気、元気、そして覇気ある学校へ」をプラスしました。甲子園や春高バレーなどの結果が出る大会では日本一は1つの学校になります。

しかし、例えば「あいさつ」「授業態度」「返事」「靴やスリッパを並べる」などは、一生懸命やれば、どの学校も「日本一です」と宣言することができる。そして今年は更にレベルアップをはかるために、やる気、根気、元気が目に見えるようにしたいと考えています。上級生にお願いしたのは、次のようなことです。朝の立ち止まりあいさつが本校の伝統ですが、あいさつの声のボリュームを2倍にしよう。授業で反応の良い態度や返事を2倍元気にしてみよう。部活動も2倍元気良く。これが校訓の「覇気」につながると考えます。覇気とはあふれるばかりの意気ごみのことです。元気で明るい日本一の中学校へ。皆さんも上級生と一丸となって取り組んでみましょう。

最後になりましたが保護者の皆様へ一言お祝いの言葉を申し上げます。お子様のご入学おめでとうございます。制服に身を包んだわが子の成長した姿を見られて、感慨も格別のことと存じます。本年度も保護者の皆様、地域の皆様と一体となって、学力向上や部活動の推進、基本的生活習慣の指導の徹底に取り組み、卒業生や地域の皆様が胸を張って誇りのもてる「日本一の北川中学校」、生徒達が楽しく学べる学校を目標に邁進して参りますので、今後とも本校の教育活動に対しましてご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。結びに次の言葉を贈ります。「風は全て追い風。私がどこを向くかだ」(コピーライター尾形真理子さん)

以上、式辞といたします。

令和二年四月九日
延岡市立北川中学校
黒木倍明